

現職者共通研修 事例検討参加者募集

2025年4月11日(金)
19時30分～21時30分
オンライン(ZOOM)開催

【募集要項】

項目: 検討・参加

参加費: 500円

(参加でポイント不要・学生は無料)

応募方法: QRコードより申し込みください

応募締切 2025年4月9日(水)



日本作業療法士協会の生涯教育制度基礎コース必須研修の一環である事例検討会を大阪府作業療法士会では各ブロック単位で開催しています。他施設での取り組みや作業療法介入を知ることができる大変貴重な機会です。4月からの新入職員さんの参加も含めて、是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今年度もオンライン(ZOOM)での開催となります。ご参加のほど宜しくお願い致します。今回の募集は「参加」「検討」となります。

プログラム

セッションA

座長 慶生会訪問看護ステーション四條畷出張所 村橋 大輔 先生

19:35 ~ 19:50

事例① わかくさ竜間リハビリテーション病院 江南 伶捺
「趣味である川柳がその人らしい生活の支援につながった事例」

19:50 ~ 20:05

事例③ 茨木医誠会 建部 明都
「離床拒否であったが応用行動分析を用いてトイレ動作獲得に至った一症例」

20:05 ~ 20:20

事例⑤ 巖生会脳神経外科病院 竹田 晴規
「小脳出血患者の自己導尿に向けて座位保持獲得を目指した症例」

20:20 ~ 20:30

休憩10分

セッションC

座長 四條畷学園大学 花田 恵介 先生

20:30 ~ 20:45

事例⑦ 扇町医誠会クリニック 上村 百合香
「頸椎化膿性脊椎炎を呈した患者の洗髪動作の持久性向上に向けた一症例」

20:45 ~ 21:00

事例⑨ PARCひがしおおさか 宮坂 希
「書字」が困難な児童に対し、机上課題にてその改善を図った事例」

21:00 ~ 21:15

事例⑪ 茨木医誠会病院 鈴木 廉
「愛犬のお世話動作の獲得により退院後QOLの向上に至った一症例」

21:15 ~

総括

セッションB

座長 大阪府立病院機構大阪精神医療センター 南庄 一郎 先生

事例② 阪和第一泉北病院 西尾 涼
「CBTを併用したOT実践により、慢性的な疼痛への恐怖感が改善し、排泄動作が自立した一例」

事例④ PARCひがしおおさか 上村 さくら
「感覚統合による対人意識の向上」

事例⑥ わかくさ竜間リハビリテーション病院 高橋 五月
「趣味の作業を活用したことで積極的な介入が可能になった事例」

休憩10分

セッションD

座長 巖生会脳神経外科病院 柳川 明義 先生

事例⑧ 関西医科大学附属病院 平田 真実
「脳膿瘍による左半側空間無視により着衣動作や趣味活動が阻害された一例」

事例⑩ 美杉会佐藤病院 中島 恭平
「上腕骨遠位端骨折を呈した症例。～洗顔動作獲得を目指して～」

事例⑫ 医誠会国際総合病院 吉田 奏
「頸髄損傷により学習性不使用を呈した症例に課題志向型アプローチ・Trasfer Packageを併用し、ADLでの使用頻度が増加した症例」